

# 議案の審議・結果 〈第4回臨時会〉

平成24年第4回臨時会（9月29日）では、東日本大震災の復旧・復興に向けて、平成24年度一般会計補正予算など議案13件を審議しました。

議案第1号は、災害派遣職員用宿舎建設工事の電気設備等の変更により請負契約を増額するものです。

議案第2号から第7号までは、只出漁港、根岬漁港、両替漁港、脇之沢漁港や下矢作地区農業集落排水施設（処理場）の復旧工事の請負契約を締結するものです。

議案第8号は、防災集団移転促進事業に必要な公共用地等取得事業について、陸前高田市土地開発公社と実施協定を締結するものです。

また、議案第9号は、消防ポンプ自動車など5台の財産取得を行うものです。議案第10号は、奈々切・大石地区画整理事業にかかる債権を放棄しようとするものです。議案第11号は、市公用車の衝突事故について損害賠償額を定めようとするものです。

議案第12号は、災害復旧のため、一般会計を増額するもので

す。補正予算額は歳入の地方交付税・国庫支出金・県支出金等

提出議案及び審議結果（平成24年第4回臨時会）		
議案第1号	災害派遣職員用宿舎建設工事の変更請負契約締結について	原案可決
議案第2号	只出漁港災害復旧工事の請負契約締結について	〃
議案第3号	根岬漁港災害復旧工事の請負契約締結について	〃
議案第4号	両替漁港災害復旧工事の請負契約締結について	〃
議案第5号	脇之沢漁港災害復旧工事の請負契約締結について	〃
議案第6号	下矢作地区農業集落排水施設（処理場）災害復旧工事の請負契約締結について	〃
議案第7号	公共用地等取得事業の実施協定締結について	〃
議案第8号	財産の取得について	〃
議案第9号	財産の取得について	〃
議案第10号	債権の放棄について	〃
議案第11号	損害賠償の額を定め和解することについて	〃
議案第12号	平成24年度陸前高田市一般会計補正予算（第4号）	〃
議案第13号	平成24年度陸前高田市水道事業会計補正予算（第3号）	〃

13億6千万円を増額し、予算総額は103.1億790万円となりました。

議案第13号の水道事業特別会計は42.2万円を増額し予算総額3億449.4万円となりました。

審議の結果、これらの議案13件すべてを可決しました。

## 東日本大震災復興対策特別委員会活動

東日本大震災復興対策特別委員会（千田勝治委員長）は、震災の復興状況・計画等の諸調査と復興促進対策について、継続して調査を行っております。

【10月16日】

9月定例会に上程され、継続審査となっていた請願「広田湾の内湾を中心とした緑の連続した防潮堤整備について」の審査を行いました。

審査は、市長以下関係部課長より説明を受け、請願趣旨に記載されている項目ごとに慎重に審査し、採決の結果、不採択となりました。

【11月27日】

本年度2回目の議会報告会を1月下旬から3班編成で実施することと決定しました。

【12月7日】

今後の調査項目やスケジュールについて協議しました。

【12月17日】

県の高田松原地区震災復興折念公園構想会議について、岩手県の県土整備部渡邊都市計画総括課長から説明を受け審査を行いました。県は、国と連携した公園の構想・計画の策定を進めたいとのことでした。



県の公園構想の調査

請願第12号「市役所建設位置に関する事について」及び請願第13号「土地利用計画案に位置づけられる嵩上げ計画の安全性の精査と検証について」の審査を行いました。

【12月18日】

請願第10号「高田海岸防潮堤12・5mの高さについて市民との意見交換の場を設けることについて」及び請願第11号「津波浸水シミュレーションの安全性の検証について」を審査しました。

審査では、請願者から請願の趣旨等について説明を受け、その後に採択について協議しました。今後も関係機関等からの調査も必要とし、いずれの請願も継続審査としました。

## 新政権へ鉄路復旧の働きかけを

### JR大船渡線復旧で三陸縦貫自動車道等整備促進特別委員会が集中審議

三陸縦貫自動車道等整備促進特別委員会（千田勝治委員長）では、12月18日、JR大船渡線復旧に向けた集中審議を行いました。

はじめに、菊池満夫企画部長から、JRに対して、BRTによる仮復旧案を受け入れるが、BRTはあくまで鉄路復旧までの代替交通として、早期全線復旧や陸前矢作駅までの早急な再開等6項目の要望書を提出したことが報告されました。

その後、11月22日に開催された第4回JR大船渡線復興調整会議でJR側から示された、「BRTルート案」及び「鉄道復旧に向けた課題」をもとに審議を行いました。

BRTルート検討案では、気仙沼駅から国道45号回りで現市役所を結ぶルートと現市役所付近に陸前高田駅を設置する案。陸前高田駅から盛岡までは、国道45号通岡経由とアップルロード経由の2ルートが示されました。

このルート案では、長部駅と高田病院駅を新設し、脇ノ沢駅

をアップルロード沿い、小友駅は従来の位置としています。また、陸前矢作駅を国道343号沿いに設置するものです。BRTバスターミナルは竹駒地区内（市営テニスコート跡）に整備するとしています。運行は、岩手県交通に委託するとしています。

議員からは、バス運行本数の増加や停留所、みどりの窓口の設置など、JRに対するサービス向上を求める発言が多く聞かれました。

鉄道復旧に向けては、まちづくりとの調整や鉄道のかさ上げ、駅舎新設等による「かき増し」といわれる負担などが課題となっていることが明らかとなりました。

審議では、依然として鉄路復旧を明言しないJR側の姿勢が議論となりました。

また、矢作地区への先行復旧や、新しい市街地形成の前提となっている鉄路の全線復旧のために、新政権に対し早期に要請を行うこと等の意見が出されました。

## 産業建設常任委員会 行政視察

産業建設常任委員会（清水幸男委員長）は、10月17日から18日にかけて、宮城県柴田郡に設けられている国営公園と東日本大震災で被災した女川町、東松島市の復興整備事業の状況について、視察・研修を行いました。

国土交通省東北地方整備局が管理する「国営みちのく杜の湖畔公園」は、東北初の国営公園として、仙台市・山形市・福島市を20㌔圏内に置く宮城県川崎町に設置されています。

この公園は、昭和52年に国営釜房湖公園として事業が採択され、昭和62年、647.4㌔の公園区域が決定して以来、整備が進められ、平成25年に完成予定となっています。

女川町と東松島市は、当市と同じく独立行政法人都市再生機構（UR）へのCM方式を採用しました。（CM方式・国土交通省が推進する「建設生産・管理システム」のひとつ）

## 総務常任委員会 行政視察

総務常任委員会（佐竹強委員長）は、11月7日、東京で、京大防災研究所巨大災害研究センター林春男教授を訪ね、巨大災害に係る検証をテーマに研修を行いました。

林教授によると、東日本大震災と阪神淡路大震災は、社会基盤の機能回復に違いがあるとのこと。阪神淡路大震災では、高速道路が横倒しになったが、3か月で復旧し、また、神戸港も18か月で復旧した。

同教授は東日本大震災では、本市の市役所庁舎が被災するなど、社会資本の被害が大きく、復興に向けては、道路、鉄道、病院、学

また、翌8日、干潟の再生をテーマに、千葉県環境生活部環境政策課を訪問し、調査を行いました。千葉県は、平成13年に東京湾の埋め立て計画を変更し、基本計画や事業計画、実施計画の策定などで民意の集約を図りながら、三番瀬の再生に取り組みできました。

総務常任委員会は、小友浦や松原の再生に向けて、こうした調査を継続していくこととしています。



京大教授から説明を受ける総務常任委員会